

屋久島レクリエーションの森

中央中 一年 内室 春太郎

屋久杉ランドは標高千メートル付近にある。樹齢数千年以上の屋久杉を含む原生林が見られる場所だ。ヤクスギランドは、三十分、五十分、八十分、百五十分の四つのコースがある。五十分コースでは、江戸時代の試し切りや、切り株などが多く見られ、屋久島の林業の歴史を見ることが出来る。八十分コースでは荒川をぐるりとまわり、美しい川原をみること

屋久島町立 中央中学校

が出来る。百五十分コースは、天柱杉、母子杉、三根杉などの屋久杉を見ることが出来る。森の植生は屋久杉の他に、モミ、ツガ、ヒメシヤラがヤマゲルマ、ハイノキ、ヒカゲツツジなどがあり、屋久島の中でも最も良好な森林を残す一帯は、荒川原生林と呼ばれ、島の水カ発電の源である。

ぼくは、このヤクスギランドを小一から歩いていく。小学校の遠足でよく行って来た。毎年同じ道を歩いていくがなぜかあきない。

周りを見たり聞いたりすると、こけや川があたり、鳥の声、葉がゆれる音、川が流れる音などが見えたり、聞こえたりする。これがあきない理由だとぼくは思っている。

ぼくはつい前、太忠岳に登った。その時もヤクスギランドを通った。朝のヤクスギランドは、少し暗く、涼しくて歩くのにちやうど良い気温だった。鳥の声が聞こえてきて、とても静かだった。ぼくはその時のヤクスギランドが一番好きだった。ヤクスギランドは、

屋久島町立 中央中学校

屋久島にはかかせない場所の一つだとぼくは思っている。そのため、これからヤクスギランドの自然を守っていきたい。

白谷雲水峡は白谷川の上流、標高六百二十から九百八十メートルにある。屋久杉を含む針葉樹、イヌノキなどの広葉樹が混じりあっている森林である。白谷雲水峡は、太鼓岩に向かう、楠川歩道コースと、二本足杉や、二丈大杉などが見られる奉行杉歩道コースがある。

楠川歩道は、楠川とつながる道で、江戸時代に石だんが、つくられた。当時、その道は屋久杉の切り出しや、岳参りにも利用されていた。白谷川を越えて、楠川歩道を歩いていくと、大きな屋久杉の七本杉や、観光客に人気の、コケムスモリがある。奉行杉歩道コースは、ぼくはまた歩いたことがない。エコツアーガイドのお母さんに聞くと、奉行杉歩道コースは、歩いてる人が少なくて静かな森が楽しめる。また途中で何本か川を渡るが、どの川もコケむしていて美しいからおすすめと教えてくれた。ぼくもいつか歩いてみたいと思っ

屋久島町立 中央中学校

ぼくは、この白谷雲水峡も一年から歩いてる。大鼓岩も五、六回は登っている。白谷雲水峡は、コケが多く、さわった時にふわふわとしていて気持ちよかった。ぼくの中では白谷雲水峡は、あまりそんなざいがないが、いざ行って歩いてみると、森を歩いている感じが強く、自然とおちついてくる。ぼくは、白

谷雲水峡も、屋久島にはかかせない場所なの  
だなと思った。そして、ぼくは屋久島の自然  
というものをくわしく知った。これが屋久島  
の自然のいいところなのだなと思った。屋久  
島の森の中に入っていくにつれ、屋久島のい  
いところが見えてくるようになった。ヤクス  
ギランドも、谷雲水峡も、もちろん屋久島  
の自然すべてがぼくは好きだ。この自然を末  
来のためにつなげていきたい。そのため、ぼ  
くたち一人一人が心がけ、いつまでも変わら  
ないすてきな屋久島にしたいとぼくは思った。